

東京日々新聞

九百十三号



肥前國佐賀へ出張
 小野組の手代 盧谷藤藏
 長谷部 逸三 田中 典三 郎の三名
 自己を驕奢に過分あり。私債と負て
 窮乏に陥り。折々閉店とせしむる。
 償却の術を以て。果て有金十
 田餘りと掠ぬ。
 夜に乘り脱走。
 兵庫縣下
 福原町の
 妓楼に
 教日遊び
 居て多分の
 最財を以て
 愛て捜索

ある者あれが、甲戌十二月二十日、忽ち捕縛せらる。斯く泥棍と解置て
 貸幣の術とせせたり。小野氏に解理あり。や、よく人口膾炙る
 宗鑑が句小
 盗人をとくく
 吾子
 非り

轉々堂主人醉録

具足屋
 赤川栄